

目標（４） 学びを通して人づくりを進め 夢と希望につなげます



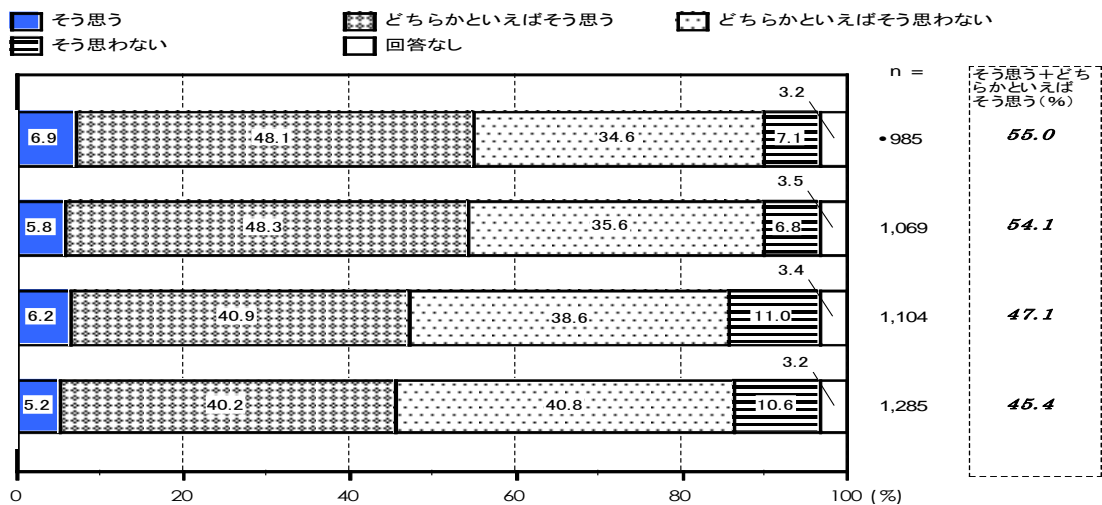
▲「タカハマ物語」第1弾に関わったメンバーたち

I. 目標と目標の達成状況

1. 目指す姿	
目標達成に向けての考え方	子どもを生涯学習の「根っこ」と捉え、子どもが夢と希望を持って青少年から社会人へと成長し、大人もまち自体も、大地から大樹のように一緒に成長し、次の時代へつなげていきます。
目標が達成された姿	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 感動との出逢いにより、子どもたちが成長し、次の世代へ夢とロマンを語り継いでいます。 ◇ 市民が学ぶ力を高め、学んだ成果をまちづくりに積極的に活かしています。 ◇ 地域資源が次の世代へ継承され、地域に息づいています。 ◇ 「たかはまが大好き」という市民が増えています。

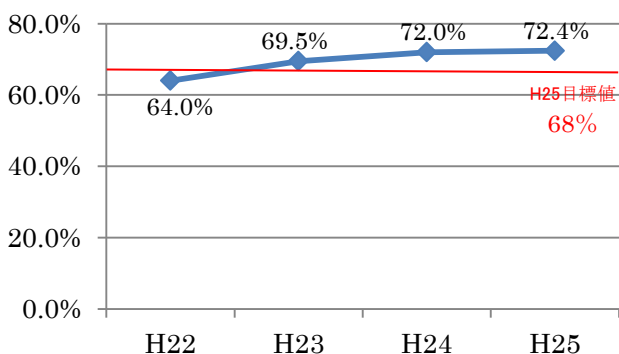
2. 市民意識調査結果

【設問】 学びを通して人が育ち、夢と希望を持って楽しく暮らせるまちだと思う

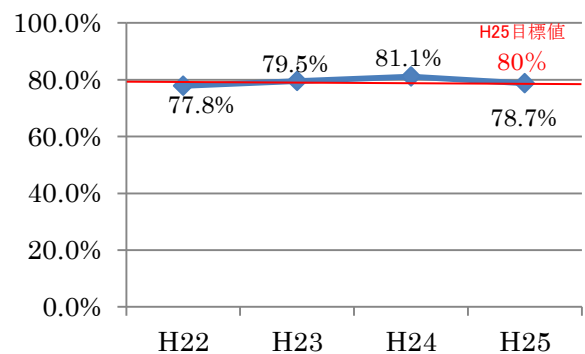


3. 「みんなで目指すまちづくり指標」の状況

1) 高浜市に愛着や誇りを持っている人の割合



2) 将来の夢を持っている子どもの割合



4. 「市民意識調査」「みんなで目指すまちづくり指標」結果に対する現状分析（要因・課題等）

- ◆指標1) は7割を超える人が高浜市に愛着や誇りを持っており、各種取組みで、「地域」への関わり、あるいは「地域」を意識する人が増えたことが要因とみられる。
- ◆指標2) は調査対象である小3から中3の子どものうち 80%近くが、将来の夢を持っており、高い水準にある。平成 24 年度は、市民ムービー「タカハマ物語」の制作・上映が数値を上げたと考えられ、引き続き、日常の取組みの中で、こども・若者の成長応援を続けたい。
- ◆「市民意識調査結果」では、年々数値が上昇しており、学びに触れる機会を継続して提供している効果が出ている。今後、さらに学びの機会を増やし、夢と希望を持てる取組みを進めたい。

II. 目標達成のための主な取組み

こんなことに取り組みます！	何を・どうした	いつ
★「高浜市生涯学習基本構想」を策定し、「学習したい」「活動したい」という想いを応援します。	①「高浜市生涯学習基本構想」（計画期間：H24～H33）を市民との協働により策定した。	H23.4～ H24.2
☆地域・学校・事業者・関係機関との連携により、市民に学ぶ喜びや楽しさ、ものづくりの素晴らしさを伝えます。	①生涯学習ネットワーク構築について、高浜市の未来を創る市民会議（生涯学習分科会）にて意見交換を行い、「高浜（まち）の学校」として、夏季講座5講座・秋季講座4講座を開催した。 ②「広報たかはま」にて月1回「地域の達人」の連載を行い、生涯学習のネットワークを広げた。	H24.6 ～H25.3 H25.4 ～H26.3
☆夢やロマンを語る事ができる、未来に羽ばたく人材を育てます。	①「中・高校生の居場所運営委員会」メンバーが、実行委員として「タカハマ物語」の制作・運営に携わった。 ②市民ムービー「タカハマ物語」が完成し、上映会を開催した。 ③「タカハマ物語」の想いを次につなげる企画の検討を行い、「タカハマ物語」第2弾の制作が決定した。	H23.7 ～H24.3 H24.8 ～H25.3 H25.4 ～H26.3
☆地域スポーツを通じて健やかな心と身体を作り、市民交流の場を充実します。	①NPO 法人たかはまスポーツクラブ、市体育協会、市スポーツ推進委員会、高浜ボートクラブ等と連携・協働し、子ども～高齢者が楽しめる各種スポーツ教室・サークル、スポーツイベントを実施した。 ②新企画「高浜市民駅伝大会」を開催した。	H23.4 ～H26.3 H25.12
☆地域の良さ（歴史、文化、伝統、産業等）を学び合い、愛着と誇りを高めていくため、地域学（高浜学）を立ち上げます。	①郷土資料館を会場とした「高浜ふるさと」講座を実施した。 ②人形文化活性化事業として、吉浜の「菊人形づくり」や「吉浜細工人形づくり」の映像記録を作成し、シンポジウムを実施した。	H23.4 ～H26.3 H23.4 ～H26.3

III. 課題と今後の取組みの方向性

課題	今後の取組みの方向性
①生涯学習基本構想の総合的な推進 ・まちへの愛着・誇りを高め、多様な人が主体的に学びに関わり、その成果をまち中に広げ、将来につなげていく必要がある。	◇ まちの魅力を将来に語り継いでいくため、子ども～高齢者、外部の視点も取り入れながら、市民とともにまちの魅力を掘り起こし、高浜市の財産としてまとめ、学び合い・語りあっていく総合的な取組み（タカハマ！まるごと宝箱）を進める。
②夢や希望を膨らませる取組み ・若者・子どもたちを「未来に羽ばたく人材」として育てていく必要がある。	◇ 「子ども・若者成長応援事業」（例：市民ムービー「タカハマ物語」第2弾）などを通して、子どもたちの関わりを増やし、想いが実現する「達成経験」を味わえる機会を増やしていく。
③スポーツを通じた健康づくり・生きがいづくり ・高齢化を背景に、誰もが気軽にスポーツに親しみ、健康で明るく活力に満ちた地域社会を創ることが求められている。	◇ スポーツ・レクリエーション機会の創出や（仮称）高浜緑地の整備など、誰もが気軽にスポーツ・レクリエーションに参加できる環境づくりを、NPO 高浜スポーツクラブやスポーツ推進委員など、関係者と連携して進める。

IV. 第6次高浜市総合計画推進会議 コメント